

令和7年度版 ONE WORLD English Course ① 年間指導計画・評価計画(案)

(March, 2025)

1年の学習到達目標：自分が関心のあることについて、まとまりのある内容を伝えることができる。

以下の「評価規準(例)」は、指導書『Myデジタル評価・テスト編』掲載の評価問題例と対応しています。掲載されている評価規準例すべてを実施する必要はありません。

配当時間計109時間

※学習指導要領で示された「言語活動に関する事項」に合致するものについては、(ア)、(イ)、(ウ)のように示す。色アミ・◎は中心活動。

年間指導計画・評価計画を作成する際、実施可能な評価規準を選択し、バランスよく評価ができるように計画してください。

学習月	単元名 単元のGoal (内容理解、活動) 【学習指導要領の「領域別の目標」 他教科等との連携】	ページ	時数		パート名	ハートことこの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence, TK: Tool Kit, LL: Let's Listen, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try!, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try, PRA: Post-Reading Activity, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項						評価する領域と評価規準 (例)				
			単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2学期制	3学期制							ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くことL	ウ 読むことR	エ 話すこと[やり取り]SI	オ 話すこと[発表]SP	カ 書くことW					
4月	Welcome to ONE WORLD English Course	①~②			-	中学校を卒業するまでの目標や、将来なりたい姿を考え、書くことができる。	■学ぶことへの動機づけをする。 中学校を卒業するまでの目標や、将来なりたい姿を書いてみる。											
	Classroom English 【聞くこと(ア)】	4~5	1		-	教室英語の表現をふり返り、理解することができる。	教室英語 ・先生が使う表現 ・役に立つ表現 ■教室英語の表現を確認する。	○	○					●教室 ▲指示する、聞き返す、質問する、礼を言う、謝る	【知識】open ... などの基本的な動作を表す語の意味を理解している。 【技能】基本的な動作を表す語の意味の理解をもとに、具体的な指示を聞き取る技能を身につけている。	授業での学習や活動を円滑に行うために、指示を正しく理解している。	授業での学習や活動を円滑に行うために、指示を正しく理解しようとしている。	
	Springboard 1 【聞くこと(イ)】	6~7	1		Nice to Meet You!	自己紹介で使われる表現の音声を聞き取り、小学校既習語句・表現をふり返ることができる。	自己紹介で使われる表現の音声 ■自己紹介で使われる表現の音声を聞き取り、小学校既習語句・表現をふり返る。	○	(イ)					●学校・自己紹介 ▲あいさつする、自己紹介する	【知識】小学校で学んだ、「簡単な自己紹介」で用いられている表現の発音や意味・働きを理解している。 【技能】小学校で学んだ、「簡単な自己紹介」で用いられている表現の発音や意味・働きの理解をもとに、音声を聞いて、必要な情報や大まかな内容を捉える技能を身につけている。			
	Springboard 2 【聞くこと(イ)】	8~9	1		さまざまな会話を聞いてみよう	様々な場面で使われている会話表現の聞き取り、小学校既習語句・表現をふり返ることができる。	様々な場面で使われている会話表現の音声 ■様々な場面で使われている会話表現の聞き取り、小学校既習語句・表現をふり返る。	○	(イ)					●学校・地域・自己紹介・買い物・道案内 ▲質問する、応答する				
	Springboard 3 【書くこと(ア)】	10~11	1		アルファベットの形を確かめよう	アルファベット(大文字・小文字)をなぞり書きし、音声を聞いて発音する。4線上でのなぞり書き・自由書きをすることができる。	アルファベット(大文字・小文字) ■アルファベット(大文字・小文字)をなぞり書きし、音声を聞いて発音する。4線上でのなぞり書き・自由書きをする。	○	○	○		◎			【知識】A~Zまでの文字の大文字・小文字の形について理解している。 【技能】アルファベットの大文字・小文字の形の理解をもとに、正確に書き写したりしている。			
	Springboard 4 【聞くこと(ア)】	12~13	8	2	アルファベットに親しもう	アルファベット(大文字・小文字)での発音と単語での発音を、音声を聞いて確認する。聞こえた単語の絵を指さすことができる。	アルファベット(大文字・小文字) ■アルファベット(大文字・小文字)での発音と単語での発音を、音声を聞いて確認する。聞こえた単語の絵を指さす。	○	◎	○					【知識】AからZまでの文字が表す音の特徴について理解している。 【技能】AからZまでの文字から始まる単語の発音を聞き取る技能を身につけている。			
	Springboard 5 【聞くこと(ア)】	14~15	2		音と文字をつなげよう	音声を聞いて、あてはまる文字を選ぶことができる。	単語の発音、音と文字のつながり、単語内の音素の聞き分け ■音声を聞いて、あてはまる文字を選ぶ。	○	◎	○					【知識】つづり字と発音の関係について理解している。 【技能】つづり字と発音の関係の理解をもとに、単語を正確に聞いたり読んだりしている。			
	Springboard 6 【話すこと [やり取り] (イ)】	16~17	2		日付や教科の表し方を確認しよう	自分の誕生日を書くことができる。 誕生日を尋ね合って、自分と同じ月の生まれの友達を探ることができる。 理想の時間割を考えて言い合うことができる。	日付(月名、31までの序数)、季節、曜日、教科名、誕生日 ■自分の誕生日を書く。 誕生日を尋ね合って、自分と同じ月の生まれの友達を探す。 理想の時間割を考えて言い合う。	○	○	○	(イ)		○	●学校 ▲質問する、応答する	【知識】小学校で学んだ、日付、季節、曜日、教科、誕生日に関わる語句の発音や意味を理解している。 【技能】小学校で学んだ、日付、季節、曜日、教科、誕生日に関わる語句の発音や意味についての理解をもとに、自分の誕生日を書き写し、誕生日についてのやり取りや理想の時間割についてやり取りしている。	自分のことをクラスメートに知ってもらうため、誕生日や理想の時間割について、伝えたい情報を整理して伝えている。	自分のことをクラスメートに知ってもらうため、誕生日や理想の時間割について、伝えたい情報を整理して、積極的に伝えようとしている。	
5月	ローマ字表 + 英語の書き方のルール / 辞書の使い方 / How to Study	18~20	1		-	【「How to Study~英語学習のポイント~」を扱う時期は、Springboardの終了後に限らず、適宜、指導に適切だとご判断されたタイミングでご利用ください。】	ローマ字表(ヘボン式) ■ローマ字表(ヘボン式)を確認する。 英語の書き方のルールを確認する。 英和辞典の基本的な使い方を確認する。 英語学習の方法を確認する。 ①相手意識をもとう! ②音声を活用しよう! ③デジタル素材を使いこなそう!						○		【知識】ヘボン式ローマ字、英語の書き方の基本的なルール、辞書の基本的な使い方について理解している。 【技能】ヘボン式ローマ字、英語の書き方の基本的なルール、辞書の基本的な使い方の理解をもとに、辞書を引いたり語句や文を書き写したりしている。			

学習月 2 学期制	3 学期制	単元名 単元のGoal (内容理解、活動) 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence, TK: Tool Kit, LL: Let's Listen, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try!, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try, PRA: Post-Reading Activity, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項						評価する領域と評価規準 (例)				
				単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
									ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くこと	ウ 読むこと	エ 話すこと [やり取り]	カ 書くこと	シ 発表					
Lesson 1 Hello, New Friends 内：生徒たちがすること・好きなことなどを理解する。 活：自分の名前や好きなものを、友達と伝え合うことができる。 【話すこと [やり取り] (イ)】		21~23	8	Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で I am (I'm) ~、I like ~、I don't play ~ の意味・形を理解することができる。【本文、KS、LL、p. 28のTask 1-1】 ②目的や場面に沿って、I am (I'm) ~、I like ~、I don't like ~ を使う練習を通して、使い方を理解することができる。【LT】	小 I am Ono Ayaka. 小 I like music. 小 I don't play the trumpet. ■KS：小学校で学んだ表現を使って、自己紹介をする。 LT：自分のことを知ってもらうために、友達に自分の好みを伝える。	○	○	○	(イ)	○	●教室 ◇自己紹介 (好きなもの、出身地、できること・できないこと) ▲話し掛ける、質問・応答する、褒める、説明する、例示する、聞き直す ☆呼び名を伝える	聞くこと	【知識】I やYou, My favorite ~などが主語の文の構造を理解している。 【技能】I やYou, My favorite ~などが主語の文の構造の理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取る技能を身につけている。	相手のことをよく知るために、他者の自己紹介を聞いて、要点を適切に捉えている。	相手のことをよく知るために、他者の自己紹介を聞いて、要点を適切に捉えようとしている。			
		24~25		Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で You are ~、Are you ~?とその応答、Do you ~?とその応答の意味・形を理解することができる。【本文、KS、LL、p. 28のTask 1-2】 ②目的や場面に沿って、Do you ~?とその応答を使う練習を通して、使い方を理解することができる。【LT】	小 You are from the U.S. 小 Are you from the U.S.? —Yes, I am. / No, I'm not. 小 Do you speak English? —Yes, I do. / No, I don't. ■KS：小学校で学んだ表現を使って、友達の出身や好みなどを尋ねる。 LT：友達のことを知るために、友達の好みを尋ねる。	○	○	○	(ア)	○	読むこと	【知識】I やYou, My favorite ~などが主語の文など、自己紹介で用いられる基本的な語彙や表現を理解している。 【技能】I やYou, My favorite ~などが主語の文の構造の理解をもとに、簡単な自己紹介の対話文を読み取る技能を身につけている。	登場人物のことをよく知るために、自己紹介する対話文を読んで、出身地や好きなこと・得意なことなどの情報を適切に読み取っている。	自己紹介文を読んで、書き手の出身地や好きなこと・得意なことなどの情報を積極的に読み取ろうとしている。				
		26~27		Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で I can ~、I can't ~、My favorite + (名詞) + is ~、It's (形容詞)の意味・形を理解することができる。【本文、KS、LL、p. 28のTask 1-3】 ②目的や場面に沿って、I can ~、I can't ~、My favorite + (名詞) + is ~、It's (形容詞)を使う練習を通して、使い方を理解することができる。【LT】	小 I can run fast. / I can't swim well. 小 My favorite sport is baseball. It's fun. ■KS：小学校で学んだ表現を使って、自分の得意なことを伝える。 LT：自分のことをもっと知ってもらうために、自分の得意なことを伝える。	○	○	○	(イ)	○	話すこと [やり取り]	【知識】I'm ~、や Please call me ~、I like ~、などの文の構造を理解している。 【技能】I や My favorite ~などが主語の文の構造の理解をもとに、簡単な自己紹介をしたり、相手の自己紹介の内容を聞き取る技能を身につけている。〈Task 3で評価〉	相手のことをよく知るために、適切な話し方や聞き方で自己紹介をし合っている。〈Task 3で評価〉	相手のことをよく知るために、適切な話し方や聞き方で積極的に自己紹介をし合っている。〈Task 3で評価〉				
		28~32		Task、Lesson 1を振り返ろう、Grammar	①Part 1~3 で扱った英語のしくみを振り返り、意味・形・使い方を理解することができる。【Task 1の復習およびGrammar】 ②本文内容を振り返って情報を整理することができる。【Task 2】 ③自分の名前や好きなものなどを、友達と伝え合うことができる。【Task 3】	Grammar： 1. 日本語と英語の語順 2. be動詞を使った文 3. 一般動詞を使った文 4. 命令文 5. canを使った文 6. thisとthat ■Task：自己紹介をし合い、得た情報を整理する。 Grammar：Lesson 1で学んだ英語のしくみを確認する。	○	○	○	(イ)	(イ)	○	話すこと [発表]	【知識】I'm ~、や Please call me ~、I like ~、などの文の構造を理解している。 【技能】I や My favorite ~などが主語の文の構造の理解をもとに、簡単な自己紹介をする技能を身につけている。〈パフォーマンス・テスト〉	自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある内容を話している。〈パフォーマンス・テスト〉	自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある内容を積極的に話そうとしている。〈パフォーマンス・テスト〉			
													書くこと	【知識】I'm ~、や Please call me ~、I like ~、などの文の構造を理解している。 【技能】I'm ~、や Please call me ~、などの文の構造を理解し、自己紹介の英文を書く技能を身につけている。	自分のことを伝えるために、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある文章を書いている。	自分のことを伝えるために、自分の好きなことやしたいことなどを整理し、まとまりのある文章を積極的に書こうとしている。			

学習月	単元名 単元のGoal (内容理解、活動) 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence, TK: Tool Kit, LL: Let's Listen, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try!, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try, PRA: Post-Reading Activity, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働きに関する事項」						評価する領域と評価規準 (例)														
			単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度										
								ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くこと	ウ 読むこと	エ 話すこと [やり取り]	カ 書くこと	ク 読むこと															
6月	Lesson 2 Talking with Friends 内：生徒たちの、「何」「誰」「いつ」などを尋ねるやり取りを理解する。 活：相手のことをよく知るための質問を考え、表現することができる。 【書くこと(ア)】	33~35	2	8	Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で What's your favorite + (名詞)?とその応答、Can you play ~?とその応答の意味・形を理解することができる。【本文、KS、LL、p. 40のTask 1-1】 ②目的や場面に沿って、What's your favorite + (名詞)?とその応答を使う練習を通して、使い方を理解することができる。【LT】 ③人称代名詞weの活用練習を含む活動を通して、人称代名詞の考え方・使い方について理解することができる。【LTM】	小 What's your favorite subject? —(It's) English. 小 Can you play the trumpet? —Yes, I can. / No, I can't. ■KS：小学校で学んだ表現を使って、尋ねたり答えたりする。 ・好きな教科 ・ある動作 LT：友達のことを知るために、友達に好きな教科を聞いてみる。 LTM：好きな教科が同じ友達を、まわりに紹介する。	○	○	○	(イ)	○	●教室、下校 (好きな教科、食べものなど) ◇好きな教科・食べもの・ミュージシャン ▲話し掛ける、褒める、質問・応答する、説明する ☆つなぎ言葉、同じ質問を返す	聞くこと	【知識】 Can、Whatなどで始まる疑問文の意味や構造を理解している。 【技能】 Can、Whatなどで始まる文の構造の理解をもとに、日常的话题について質問や応答を聞き取る技能を身につけている。	新しく来たALTと留学生のことをよく知るために、発話者による質問や応答の内容を適切に聞き取っている。	新しく来たALTと留学生のことをよく知るために、発話者による質問や応答の内容を適切に聞き取るようとしている。											
					Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で What + (名詞) + do you like?とその応答、Is it ~?とその応答の意味・形を理解することができる。【本文、KS、LL、p. 40のTask 1-2】 ②目的や場面に沿って、What + (名詞) + do you like?とその応答を使う練習を通して、使い方を理解することができる。【LT】	小 What food do you like? —I like dumplings. 小 Is it a food from Singapore? —Yes, it is. / No, it isn't. ■KS：小学校で学んだ表現を使って、尋ねたり答えたりする。 ・好きな食べ物 LT：友達のことを知るために、友達に好きな食べ物を聞いてみる。	○	○	○	(イ)	○						読むこと	【知識】 Where、Whoなどで始まる疑問文の意味や構造を理解している。 【技能】 日常的话题に関する簡単な文章を読み、内容を読み取る技能を身につけている。	日常的话题に関する簡単な文章を読んで、内容を適切に読み取っている。	日常的话题に関する簡単な文章を読んで、内容を積極的に読み取ろうとしている。							
					Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で What do you ~?とその応答、Who is ~?とその応答、When is ~?とその応答の意味・形を理解することができる。【本文、KS、LL、p. 40のTask 1-3】 ②目的や場面に沿って、Who is ~?とその応答をする練習を通して、その使い方を理解することができる。【LT】	小 What do you do in your free time? —I play chess. 小 Who is your favorite musician? —I love Aileen. 小 When is your birthday? —It's June 16th. ■KS：小学校で学んだ表現を使って、尋ねたり答えたりする。 ・自由時間に何をするか ・誰が好きか ・誕生日はいつか LT：友達のことを知るために、友達に好きなミュージシャン	○	○	○	(ア)	○										話すこと [やり取り]	【知識】 Can、What、Whoなどで始まる疑問文の意味や構造を理解している。 【技能】 相手の自己紹介の内容について、Can、What、Whoなどで始まる文で質問する技能を身につけている。(パフォーマンステスト)	ALTについてよく知るために、ALTの簡単な自己紹介に対して質問をしている。(パフォーマンステスト)	ALTについてよく知るために、ALTの簡単な自己紹介に対して積極的に質問をしようとしている。(パフォーマンステスト)			
					Task、Lesson 2を繰り返す、Grammar	①Part 1~3で扱った英語のしくみを振り返り、意味・形・使い方を理解することができる。【Task 1の復習およびGrammar】 ②本文内容を振り返って情報を整理し、4線の上に書き写すことができる。【Task 2】 ③自己紹介文を読んで、自分が考えた質問文を4線の上に書くことができる。【Task 3】	Grammar： 1. 名詞の単数と複数の使い分け 2. 代名詞 3. canを使った疑問文 4. さまざまな疑問文 ■Task：自己紹介に対する質問を考え、4線の上に書く。 Grammar：Lesson 2で学んだ英語のしくみを確認する。	○	○	○	○	◎														話すこと [発表]	お互いのことを理解し合うために、ペアの相手と好きな教科・食べ物・ミュージシャン・スポーツ選手などの関心のある話題について質問したり、相手からの質問に適切に答えたりしている。(パフォーマンステスト)	お互いのことを理解し合うために、ペアの相手と好きな教科・食べ物・ミュージシャン・スポーツ選手などの関心のある話題について質問したり、相手からの質問に適切に答えたりしようとしている。(パフォーマンステスト)
					帯活動	Lesson 2までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。	Lesson 2までの言語材料 ■Lesson 2までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。				(ア)																	
1	Activities Plusを利用して質問と応答のやり取りをすることができる。 【指導時期は、Lesson 1 Part 1以降、適宜、帯活動でActivities Plusの使用を開始する直前にご使用ください。】	■Activities Plusの効果的な活用のしかたを確認し、実際にActivities Plusでやり取りの練習をする。				(ア)		話すこと [やり取り]	▲質問・応答する、説明する、など	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答しようとしている。																	
45	46	1	-				(ア)																					

学習月	単元名 単元のGoal (内容理解、活動) 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence, TK: Tool Kit, LL: Let's Listen, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try!, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try, PRA: Post-Reading Activity, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項						評価する領域と評価規準 (例)				
			単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
								ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くこと	ウ 読むこと	エ 話すこと [やり取り]	オ 話すこと [発表]	カ 書くこと					
2 3 学 期 制	Lesson 3 Club Activities 内：生徒たちが週末にしたことを理解する。 活：過去にしたことやできごとを伝えることができる。 【書くこと(イ)】	47~49	2	Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の過去形の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、日記を書くことができる。【T&T】	小 We played basketball. I went shopping. It was fun. ■KS：過去のできごとや状態を伝える。 T&T：登場人物になりきって、日記を自由に書く。	○	○	○	○	○	(イ)	●日記、学校 ◇部活動 ▲説明する、褒める、質問・応答する、聞き直す ☆詳しい情報を聞き出す。yesやnoを使わずに相手の質問に答える	聞くこと	【知識】過去のことについて説明する文の特徴やまわりを理解している。 【技能】過去のことについて説明する文を聞き取る技能を身につけている。	過去にしたことについての説明の要点を適切に聞き取っている。	過去にしたことについての説明の要点を適切に聞き取るようとしている。	
				Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の過去形(否定文)の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	I didn't have practice yesterday. I wasn't sleepy last night. ■KS：過去にできなかったことを伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。		○	○	(イ)	○							
		50~51	2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の過去形(疑問文)の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の概要把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	Did you have a game yesterday? —Yes, I did. / No, I didn't. Were you busy this morning? —Yes, I was. / No, I wasn't. ■KS：過去のできごとや状態をたずねる。 R&T：①本文の内容に合うように空所に日本語を入れる。【概要把握】 ②登場人物になりきって、本文中の質問に答える。		○	(ウ)	○	○							
				Task、Lesson 3をふり返ろう、Grammar	①Part 1~3 で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理し、4線の上に書き写すことができる。【Task 1】 ③「想像日記」の例文を読んで、自分の「想像日記」を4線の上に書くことができる。【Task 2】	Grammar： 1. be動詞の過去形 2. 一般動詞の過去形 ■Task：理想の一日の「想像日記」を書いて、発表する。 Grammar：Lesson 3で学んだ英語のしくみを確認する。	○	○	○	(イ)	(ウ)							
7 7 月	Tips for Writing ① 【書くこと(ア)】	52~53	8	2										話すこと [やり取り]	【知識】過去のことについて説明したり質問したりする文の特徴やまわりを理解している。 【技能】過去のことについて、事実や自分の気持ちなどを、過去形の文を用いて伝えたり、質問したり、相手の質問に答えたりする技能を身につけている。(パフォーマンステスト)	お互いのことをよく知るために、グループになって、先週したことについてのチャットを適切に行っている。(パフォーマンステスト)	お互いのことをよく知るために、グループになって、先週したことについてのチャットを積極的にしようとしている。(パフォーマンステスト)	
																		話すこと [発表]
		54~57	2											書くこと	【知識】過去のことについて説明する文の特徴やまわりを理解している。 【技能】過去のことについて、事実や自分の気持ちなどを、過去形の文を用いて書く技能を身につけている。(Task 2で評価)	自分の理想の一日を「想像日記」として発表するために、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。(Task 2で評価)	自分の理想の一日を「想像日記」として発表するために、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。(Task 2で評価)	
		58	1	-										書くこと	【知識】文章を書くときのまわりを理解している。 【技能】文章を書くときのまわりの理解をもとに、3文程度の日記を書く技能を身につけている。			

学習月	単元名 単元のGoal (内容理解、活動) 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence, TK: Tool Kit, LL: Let's Listen, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try!, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try, PRA: Post-Reading Activity, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働きに関する事項」						評価する領域と評価規準 (例)				
			単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
								ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くこと	ウ 読むこと	エ 話すこと [やり取り]	オ 話すこと [発表]	カ 書くこと					● 主な言語の使用場面 ◇ 話題・題材 ▲ 言語の働き ☆ 工夫
9月	Lesson 4 My Favorite Things 内：生徒たちが伝えているお気に入りの人やものについて理解する。 活：自分のお気に入りの人やものを紹介することができる。 【書くこと(イ)】 家庭	59~61	8	2	Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で三人称・単数を主語とする一般動詞の肯定文・否定文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS, TK, LL】 ②目的や場面に沿って、好きな動物を紹介することができる。【T&T】	She likes vegetables. She doesn't like fish. ■KS：自分と相手以外の人について述べる。 T&T：教科書本文を参考にして、好きな動物を飼っているつもりでその動物を紹介する。						(イ)		●SNSへの投稿、家庭、学校 ◇お気に入りの人やもの ▲説明・描写する、命令する、繰り返す、質問・応答する、褒める ☆読み手に依頼する。 数量や、人・場所の名前に注目する	【知識】第三者について説明する文やもの数・量を説明する文の発音の特徴やきまりを理解している。 【技能】第三者について説明する文やもの数・量を説明する文の発音の特徴やきまりの理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取る技能を身につけている。	新しいALTについて英字新聞で伝えるために、自己紹介の要点を適切に聞き取っている。	新しいALTについて英字新聞で伝えるために、自己紹介の要点を適切に聞き取るようとしている。
		62~63			Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で三人称・単数を主語とする一般動詞の疑問文とその応答の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS, TK, LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	Does your father cook? —Yes, he does. / No, he doesn't. ■KS：自分と相手以外の人について「～するか」尋ねる。 T&T：教科書本文を参考にして、好きな動物を飼っているつもりでその動物を紹介する。					(イ)		【知識】第三者について説明する文やもの数・量を説明する文の発音の特徴やきまりを理解している。 【技能】第三者について説明する文やもの数・量を説明する文の発音の特徴やきまりの理解をもとに、日常会話に関する簡単な文章を読んで、数量や人・場所の名前に注目しながら要点を把握するために適切に読み取っている。	日常会話に関する簡単な文章を読んで、数量や人・場所の名前に注目しながら要点を把握するために適切に読み取っている。	日常会話に関する簡単な文章を読んで、数量や人・場所の名前に注目しながら要点を把握するために適切に読み取ろうとしている。		
		64~65			Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で How many ～?の疑問文とその応答、some/anyの意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS, TK, LL】 ②本文の要点把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	How many books does she have? —She has 20 books. I have some books. I don't have any books. ■KS：もの数・量について尋ねたり説明したりする。 R&T：①本文の内容に合うように空所に日本語を入れる。【要点把握】 ②自分の好きな作家や本を指定の書き出しに続けて書く。					(イ)		【知識】第三者について説明する文の発音の特徴やきまりを理解している。 【技能】第三者について説明する文の発音の特徴やきまりの理解をもとに、質問する技能を身につけている。〈パフォーマンステスト〉	自分の知らない人物について教えてもらうために質問し、適切にメモにまとめている。〈パフォーマンステスト〉	自分の知らない人物について教えてもらうために質問し、適切にメモにまとめるようとしている。〈パフォーマンステスト〉		
		66~69			Task、Lesson 4をふり返ろう、Grammar	①Part 1~3 で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理し、4線以上に書き写すことができる。【Task 1】 ③自分が好きなものをSNSに投稿するという設定で4線以上に書くことができる。【Task 2】	Grammar： 1. 一般動詞の三人称・単数・現在形 2. How many ～ does she ...? 3. some と any ■Task：Part 1本文を参考に、自分の好きなものをSNSの記事に書く。 Grammar：Lesson 4で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。					(イ)	(イ)	【知識】第三者について説明する文の発音の特徴やきまりを理解している。 【技能】第三者について説明する文の発音の特徴やきまりの理解をもとに、自分の好きなものなどについて簡単な説明をする技能を身につけている。〈パフォーマンステスト〉	自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなものについての情報を整理し、まとまりのある内容を話している。〈パフォーマンステスト〉	自分のことをよく知ってもらうために、自分の好きなものについての情報を整理し、まとまりのある内容を積極的に話そうとしている。〈パフォーマンステスト〉		
10月	Project 1 My Favorite Person 活：お気に入りの人物について、好きなところや自分の思いなどを表現することができる。 【話すこと [発表] (イ)、書くこと (イ)】	70~73	2	-	お気に入りの人物について、好きなところや自分の思いなどを整理し、英語で書いてクラスに紹介することができる。 既習事項 スピーチの最初のことば・最後のことばなど 参考資料：Who Is Your Favorite Person? ■例を参考にして、お気に入りの人物について、好きなところや自分の思いなどを英語で書いてクラスに紹介する。						(イ)	(イ)	●学校 ◇好きな人物について紹介する ▲発表する、話し掛ける、説明・描写する、褒める、質問を求める ☆聞き手に問いかける	【知識】お気に入りの人物について説明する語彙や表現を理解している。 【技能】お気に入りの人物について、その人物の特徴を含めて説明する技能を身につけている。	お気に入りの人物について、その人物の特徴を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	お気に入りの人物について、その人物の特徴を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を積極的に話そうとしている。		
	Activities Plus 2 【話すこと [やり取り] (ア)】	74	帯活動	-	Lesson 4 までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。 Lesson 4 までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。						(ア)		◇過去にしたことなど ☆即興で対話する	【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身につけている。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答しようとしている。		
	Tips for Speaking ② 【話すこと [やり取り] (ア)】	75	1	-	質問に合った答え方をすることができる。 既習事項 ■質問に合った答え方を確認し、実際にActivities Plusでやり取りの練習をする。							(ア)		▲質問・応答する、説明する ☆疑問文の種類の違いに注意する				
Sing Along ①	76	-	-	-	-	Hello, Goodbye												

学習月	2 学期制	3 学期制	単元名 単元のGoal (内容理解、活動) 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence, TK: Tool Kit, LL: Let's Listen, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try!, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try, PRA: Post-Reading Activity, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項						評価する領域と評価規準 (例)			
					単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
										ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くこと	ウ 読むこと	エ 話すこと [やり取り]	カ 書くこと	オ 話すこと [発表]				
10月	Lesson 5 School Life in Two Countries 内：日本とオーストラリアの学校の生徒の過ごし方を理解する。 活：クラスメートがしていることを表現することができる。 【話すこと [やり取り] (イ)】 社会 (地理) / 理科 (地学)	77~79	2	Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	We are having morning tea now. She isn't eating lunch now. ■KS：今していることを伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。							●学校 ◇外国の学校とのビデオ通話 ▲話し掛ける、質問・応答する、状況を説明する、褒める ☆相手の状況を確認する。もの名前を聞き取る	聞くこと	【知識】現在進行形の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】現在進行形の文の特徴やきまりの理解をもとに、身近な人物の様子を紹介する会話を聞いて、その内容を聞き取る技能を身につけている。	生徒たちが探している先生の居場所を知るために、先生が現在行っていることなどについて、必要な情報を聞き取っている。	生徒たちが探している先生の居場所を知るために、先生が現在行っていることなどについて、必要な情報を聞き取るようとしている。		
					Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の疑問文とその応答の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	Is Aya singing? —Yes, she is. / No, she isn't. What is she singing? —She is singing "My Ballad." ■KS：今していることをたずねる。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。					読むこと			【知識】現在進行形の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】現在進行形の文の特徴やきまりの理解をもとに、海外の友達の学校生活に関する文章を読んで、その内容を読み取る技能を身につけている。	海外の友達の学校生活に関する文章を読んで、そこで起きていることについての情報を適切に捉えている。	海外の友達の学校生活に関する文章を読んで、そこで起きていることについての情報を積極的に捉えようとしている。		
					Part 3	①音楽室と理科室にいる人々がしていることを説明する音声を聞いて、適切に聞き取ることができる。【LL】 ②音楽室と理科室にいる人々の様子を適切に説明することができる。【LS】	A boy is standing by the desk. He is taking a CD out of the case. A girl is standing by the window. She is waving her hand. ■LL：イラストに描かれている人々が、話題にあがった順番に整理する。【概要把握】 LS：Expressionsを参考にして、イラストに描かれている人物が今していることを説明する。					話すこと [やり取り]			【知識】現在進行形の疑問文と応答の特徴やきまりを理解している。 【技能】現在進行形を用いて、今していることについて質問したり答えたりする技能を身につけている。〈Task 2で評価〉	自分の学校の様子について、ビデオ通話している相手の質問に答えたり、自分から質問したりしながら会話を継続している。〈Task 2で評価〉	自分の学校の様子について、ビデオ通話している相手の質問に答えたり、自分から質問したりしながら、積極的に会話を継続しようとしている。〈Task 2で評価〉		
					Task, Lesson 5 をふり返ろう、Grammar	①Part 1~3 で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③ビデオ通話の相手に人々の状況を説明することができる。【Task 2】	Grammar：現在進行形 ■Task：本文の設定を参考に、ビデオ通話している相手に、自分のクラスの状況を伝えるやり取りを練習する。 Grammar：Lesson 5で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。					話すこと [発表]							
		84~85	1																
			86	1	-	音声のなかの重要な情報に注意し、聞き取ることができる。	留学中、クラスの日時や教室などの説明を受ける音声 ■音声を聞いて、相手が伝えたい大事なことや自分が必要とすることを聞き取る。						▲話し掛ける、質問・応答する、説明する ☆ポイントを絞って聞き取る	聞くこと	【知識】必要な情報を聞き取る際に注意すべきポイントを理解している。 【技能】必要な情報を聞き取る際に注意すべきポイントの理解をもとに、重要な部分に注意して聞き取る技能を身につけている。	大事な情報をしっかりと把握するために、口頭で行われる説明の内容から、相手が伝えたい大事なことや自分が必要とすることを聞き取り、メモしている。	大事な情報をしっかりと把握するために、口頭で行われる説明の内容から、相手が伝えたい大事なことや自分が必要とすることを聞き取り、メモしようとしている。		
11月	Lesson 6 Lunch in Chinatown 内：それぞれの生徒が何を食べたかを理解する。 活：おすすめのもの、その理由をたずねるやり取りができる。 【話すこと [やり取り] (ア)】 家庭	87~89	2	Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で疑問詞 whichとwhyの疑問文と応答文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	Which restaurant do you recommend? —I recommend that restaurant. Why do you recommend that restaurant? —Because their soup is delicious. ■KS：どれを勧めるか尋ねたり、その理由を尋ねたりする。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。						●友達との休日の外出 ◇中華街での会話 ▲誘う、質問・応答する、説明する、意見を言う、相づちを打つ、礼を言う、褒める ☆代動詞do、does、代名詞に注目する	聞くこと	【知識】Whoseなどを用いた疑問文の意味や構造を理解している。 【技能】Whoseなどを用いた疑問文の意味や構造の理解をもとに、質問や応答を聞き取る技能を身につけている。					
					Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で疑問詞whoとwhoseの疑問文と応答文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	Who wants a cake? —I do. Whose dessert is that? —It's mine. / It's not mine. ■KS：誰のものが尋ねたり答えたりする。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。							読むこと	【知識】代名詞の目的格、所有代名詞の意味や構造を理解している。 【技能】代名詞の目的格、所有代名詞の意味や構造の理解をもとに、代名詞が示す内容を読み取る技能を身につけている。				
					Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で人称代名詞 (目的格) him/her の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の概要把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	I cook for her. He is very kind. We like him. ■KS：誰についての情報であるかを理解したり、伝えたりする。 R&T：①本文の内容に合うように空所に日本語を入れる。【概要把握】 ②過去につけてもらったお気に入りの料理について、つくってくれた人と料理の名前を言う。							話すこと [やり取り]	【知識】Which、Why、Who、Whoseなどを用いた疑問文やその答えの文の意味や構造を理解している。 【技能】お薦めする本や映画・マンガ・ゲームなどについて、Which、Why、Who、Whoseなどを用いて質問したり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。〈Task 2で評価〉	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、お薦めする本や映画・マンガ・ゲームなどについて、相手の質問に答えたり、自分から質問したりしながら会話を継続している。〈Task 2で評価〉	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、お薦めする本や映画・マンガ・ゲームなどについて、相手の質問に答えたり、自分から質問したりしながら、積極的に会話を継続しようとしている。〈Task 2で評価〉		
		90~91	2																
			92~93	2															
11月	Lesson 6 Lunch in Chinatown 内：それぞれの生徒が何を食べたかを理解する。 活：おすすめのもの、その理由をたずねるやり取りができる。 【話すこと [やり取り] (ア)】 家庭	94~95	1	Task, Lesson 6 をふり返ろう、Grammar	①Part 1~3 で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③おすすめする映画・マンガ・ゲームなどの作品についてクラスメートにアンケートを取って、結果をまとめることができる。【Task 2】	Grammar：1. Why ~? —Because ~. 2. Which [Who, Whose] ~? 3. 人称代名詞目的格 ■Task：おすすめする作品とその理由についてクラスでアンケートを取り、結果をまとめる。 Grammar：Lesson 6で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。													

学習月	単元名 単元のGoal (内容理解、活動) 【学習指導要領の「領域別の目標」 他教科等との連携】	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence, TK: Tool Kit, LL: Let's Listen, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try!, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk Talk More, LS: Let's Speak)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence, T&T: Think&Try!, R&T: Read&Try, PRA: Post-Reading Activity, [以下、1年のみ] LT: Let's Talk, LTM: Let's Talk More, LS: Let's Speak)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項						評価する領域と評価規準 (例)					
			単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
								ア 小学校 校内容 の定着 を図る もの	イ 聞く こと	ウ 読む こと	エ 話す こと [やり 取り]	カ 書く こと	コ 読む こと					ク 話す こと [発表]	ケ 書く こと
2 学 期 制	Tips for Reading ① 【読むこと(イ)】	96	1	-	代名詞が指すものを捉えながら英文を読むことができる。	既習事項 ■英文の中で、代名詞が誰(何)を指しているのかを理解しながら文章を読む。													
	Useful Expressions ① 【話すこと [やり取り] (イ)】	97	1	-	目的の場所への行き方を尋ねたり、説明したりすることができる。	校舎案内の表現 Where's the teachers' room? It's on the second floor. Go up the stairs and turn right. など ■モデル会話を参考にして、校舎を案内するやり取りの練習をする。													
Tips for Reading ② 【読むこと(ア)】	98	1	-	ウェブサイトなどから自分が必要な情報を見つけることができる。	既習事項 観光ウェブサイト風の英文 ■観光ウェブサイト風の英文(観光地の紹介文)から、自分が必要な情報を見つける。														
12 月	Lesson 7 Symbols and Signs 内：それぞれの記号や標識が表す意味を理解する。 活：標識の意味を想像して表現することができる。 【書くこと(ア)】 社会(公民)	99~101	2	Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で助動詞 should の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	You should take off your shoes here. ■KS：助言する。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。													
		102~103		Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で have to / don't have to の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文を参考にして、標識クイズを出し合うことができる。【T&T】	I have to study for the math test. You don't have to wash the dishes. ■KS：しなければならないことを説明する。 T&T：本文を参考にして、標識クイズをする。													
		104~105	7	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で Can I ~? で許可を求めたり、Can you ~? で依頼したりする疑問文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の概要把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	Can I ask a question? —Sure. Can you help me? —Of course. ■KS：相手に依頼したり、許可を求めたりする。 R&T：①本文の内容に合うように空所に日本語を入れる。【概要把握】 ②ピクトグラムが役に立つのはどんな場面か話し合う。													
		106~107		Task、Lesson 7 をふり返ろう、Grammar	①Part 1~3 で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Use の動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③画像の標識の意味を想像して、英語で表現することができる。【Task 2】	Grammar： 1. should 2. have to, don't have to 3. Can I ~?, Can you ~? ■Task：海外の標識の意味を想像し、書く。 Grammar：Lesson 7 で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。													
		Activities Plus 3 【話すこと [やり取り] (ア)】	108	帯活動	-	Lesson 7 までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。	Lesson 7 までの言語材料 ■Lesson 7 までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。												
Tips for Speaking ③ 【話すこと [やり取り] (ア)】	109	1	-	Activities Plus を活用して、さまざまな応答をすることができる。	既習事項 ■「応答のパターンの増やし方」を確認し、実際に Activities Plus でやり取りの練習をすることができる。														
12 月	Project 2 My Original Sign 活：オリジナルの標識を考えて、その特徴や意味を表現することができる。 【話すこと [発表] (イ)、書くこと (イ)】	110~111	2	-	オリジナルの標識を考えて、その特徴や意味を表す英文を書き、クラスに発表することができる。	既習事項 ■例を参考に、オリジナルの標識を考えて、その特徴や意味を表す英文を書き、クラスに発表する。													

